

NEWS LETTER

Vol. 5
2022.1月

主要指標 (2021年11月速報値)

※請負は請負・委任の合計

【会員数(人)】	前年同月比較	【新入会員数(人)】	前年同月比較	【退会会員数(人)】	前年同月比較
合計	699,498 (▲10,101)	合計	65,553 (+4,207)	合計	64,474 (▲2,831)
男性	461,909 (▲ 8,030)	男性	40,249 (+2,368)	男性	40,519 (▲1,361)
女性	237,589 (▲ 2,071)	女性	25,304 (+1,839)	女性	23,955 (▲1,470)
【受注件数(件)】	前年同月比較	【就業延人員(人日)】	前年同月比較	【契約金額(千円)】	前年同月比較
合計	2,534,879 (▲ 3,367)	合計	44,317,328 (+417,985)	合計	215,831,586 (+2,686,643)
請負	2,489,785 (▲ 4,230)	請負	38,675,290 (+227,437)	請負	185,642,677 (+1,114,384)
派遣	45,094 (+ 863)	派遣	5,642,038 (+190,548)	派遣	30,188,908 (+1,572,258)

ご挨拶

今年もよろしくお願いたします

いつもニュースレターをご愛読いただき、ありがとうございます。引き続き、シルバー人材センター事業の参考情報や全国のセンター・連合本部の様々な取組などの最新情報を皆様にタイムリーに提供してまいります。今後は皆様からの声もお伝えしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

トピックス

柏崎市センターが令和3年度地域づくり表彰「国土計画協会会長賞」を受賞

会員手作りの品や野菜などを販売したり、会員が集まれるサロンなどの運営を行っているセンターは全国にたくさんありますが、その一つである柏崎市シルバー人材センター（新潟県）の「シルバーふれあいサロン やまゆり」が、国土交通省の「地域間の連携と交流による地域づくりを奨励するため、地域づくり活動の優良事例を表彰する」地域づくり表彰の受賞団体として「国土計画協会会長賞」を受賞しました。

国土計画協会会長賞

シルバーふれあいサロン やまゆり (新潟県柏崎市)

—— 商店街にある75歳以上の男性が過半数という直売所・生き生きと接客・生き甲斐創造に ——

- 活動の概要 「シニアボランティアの活躍で人気の直売所」
▶市の中心部「えんま通り商店街」にある、空き店舗を利用した直売所「シルバーふれあいサロン「やまゆり」では、毎日、新鮮な朝採り野菜が並ぶ人気の店。運営しているのは、半数が75歳以上の男性というボランティア157名。銀行や商社のOBも。
▶あえてレジを使わず「もぎり方式」による簡単な仕組みを採用、会員の互助で負担を減らしつつ、営業を軌道に乗せた。
▶会員が自宅で丹精込めて作った野菜、手作りの巾着等も並ぶ。
▶お茶を飲んだり会話のできるサロンを併設し毎日のように訪れる常連もいる。開店時には行列ができることもあり、商店街の賑わいの核となっている。
▶更には、遊休地や耕作放棄地を活用した「体験型農場」を作り、野菜を作ったことのないシニアの参加を促す。



開店時には行列ができるほど盛況な「やまゆり」商店街は若い人を中心に新規開業者が増え、空き店舗が消滅するほどの賑わいを見せている

- 選定理由 「年齢に関係なく活躍できる新しい生きがいの場を創出。特に高齢男性の元気な活躍に注目」
商店街の空き店舗を活用し、高齢者ボランティア会員が簡単に店番の出来る工夫「もぎり方式」を取り入れ、シニア層に絞った店舗運営により、商店街の振興とボランティアの生きがいを創出させたほか、耕作放棄地を「体験型農場」として活用し、障害者支援団体と協力して六次産業化に取り組み、地域内の経済循環を促進するなど、地域の活性化に顕著な功績があり、国土の利用・整備・保全等の観点から高い評価を受けた。

男性が参加しにくい、コミュニケーションがとりにくい直売所の店番などのボランティアに、多くの男性が参加していることが評価につながったようです。なお、シルバーふれあいサロン「やまゆり」については月刊シルバー人材センター平成27年1月号に詳しく出ていますのでご覧ください。

(出典：令和3年10月20日国土交通省 Press Release)

特集

独自事業の取組① - 80歳を超えても活躍できる就業機会の創出 -

人生100年時代を迎え、元気なうちはいくつになっても働き続けることができる就業環境を整える必要があります。特に、受注した仕事の提供だけでなく、自ら事業を立ち上げ高齢者に適した仕事を作り出す「独自事業」は、地域に役立つ仕事、女性にも参加しやすい仕事、年齢を重ねてもできる仕事など、多種多様な仕事生まれる可能性があり、会員の多様な就業ニーズに対応するとともに、センターの活性化につながります。また、地元自治体実施する様々な施策と連携して実施することにより、地域の活性化にもつながります。

今回は「令和2年度事業統計からみた独自事業の実施状況」^(注)について、次回は「様々な独自事業の取組」をご紹介します。(注) 全シ協会員専用ページ「全シ協資料/年度統計/令和2年度統計年報と別冊」の「別冊」を参照

👉 独自事業とは

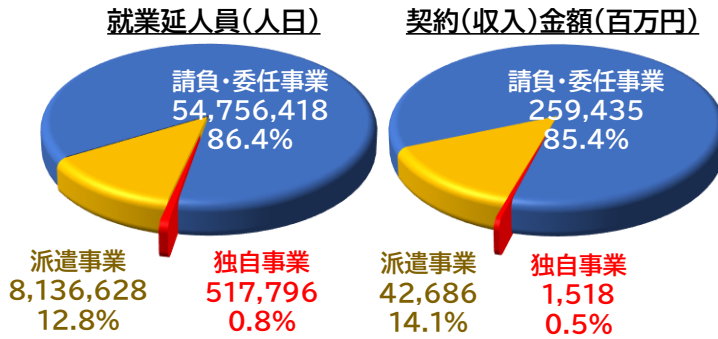
本来事業である受託事業とは別の形として、センターが会員の就業機会を広げるために、自ら工夫して行う事業であり、原則として事業発足段階で発注者の存在しない事業。自主事業とも呼ばれます。

事業統計の中には、独自事業としてスタートした事業であっても請負部分がほとんどを占めるに至ったような事業や本来受託事業とすべき事業など、独自事業といえない事業も一部見受けられます。

独自事業の実績は全体の1%以下

令和2年度事業統計でみると、全国の約4割の524センターで独自事業を実施しており、就業延人員は約52万人日、収入金額は約15億円と、いずれも全体の1%以下の極めて小さい割合となっています。

（令和元年度は558センターで実施。就業延人員約62万人日、収入金額 約20億円、いずれも全体の1%以下でした。）



独自事業は様々な仕事を創出しています

独自事業は様々な仕事を創出しています。「統計年報別冊」では、独自事業を48の仕事の種類に分類していますが、就業延人員の多い仕事（類似の仕事は合算）は下表のとおりです。

仕事の種類	就業延人員 (人日)	収入金額 (千円)
販売	137,157	283,190
縫製関連	62,791	70,791
パソコン教室ほか各種教室	56,225	163,184
農林・水産作業	48,719	127,572
食品・調理関連	45,310	183,523
自転車その他リサイクル	28,507	129,003
各種福祉サービス	24,873	102,430

(参考) 就業延人員が上位のセンターの女性会員比率は、全国平均33.82%を大きく上回っています。

独自事業実施率 上位5県		就業延人員 上位5センター		女性比率		収入金額 上位5センター	
1	石川県(17センター) 94.4%	1	大野市(福井県) 48,572人日	54.41%	1	大野市(福井県) 4,641万円	
2	広島県(18センター) 81.8%	2	伊丹市(兵庫県) 11,425人日	45.25%	2	加古川市(兵庫県) 4,075万円	
3	福井県(12センター) 80.0%	3	多度津町(香川県) 10,646人日	41.21%	3	直方市(福岡県) 3,768万円	
4	福岡県(34センター) 77.3%	4	七尾市(石川県) 10,316人日	52.66%	4	伊丹市(兵庫県) 3,052万円	
5	愛知県(44センター) 77.2%	5	防府市(山口県) 9,683人日	41.68%	5	松本地域(長野県) 2,322万円	

全シ協からのお知らせ

○ 令和4年度「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」(内閣府)への積極的な応募をお願いします。

- ・これまで紹介事例として決定されなかったものを再度応募いただくこともできます。
- ・応募は各連合本部までお願いします。連合から全シ協への提出期限は2月28日です！